



用意する物(道具)

電子スケール・ヒートガン(大風量ドライヤー)・非接触温度計・ガストーチ
はさみ・スポイト・ビニール手袋・ダンボール箱

材料

板・波専用レジン・シュプリームホワイト
着色剤(アクリル絵の具など)・celladd・紙コップ・混ぜ棒

～作業前の準備～

レジンが服やテーブルにつくと取れなくなります。
テーブルにはビニールシートをかけ、スケールにもビニール袋をかけましょう。
エプロンや手袋を着用し、出来るだけ換気をした状態で作業するようにしましょう。

1.板の裏にマスキングテープを貼る

2.レジン混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジン混ぜる。
レジン合計90g(主剤60g：硬化剤30g)
気泡が入らない様にゆっくり混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。

3.レジン粘度をつける

レジン硬化熱でレジン温度が40度～45度(熱いお風呂くらい)になるまで放置する。
硬化が遅い時はヒートガンでレジン温める。
ヒートガンで温める時は使用したい温度より3度くらい低い温度に温めて、1～2分後に計測。
温度が基準に入ったら次の工程へ。

4.レジン紙コップ3つに分ける

先に紙コップに白波用レジンを取り分け、残りのレジンを二等分(海2色用)にする。

5.着色剤混ぜる

着色剤混ぜる。青系の着色剤はレジン硬化を早める性質があるので
青より遠い色から着色する。例)白⇒緑⇒青

6.板に海色レジン流し込む

海側のレジン板に流し、ヘラや指でレジン広げる。

7.レジン粘度確認し、白レジンにcelladd混ぜる

白レジン流す直前にcelladdをスポイトで数滴入れて混ぜる。

8.白レジン波打ち際のフチに流し込む

5で広げた海色レジン端に沿うようにして一本線を描く様に白レジン流す。
海色レジンと隙間が出来ない様にする。もし隙間があったらヘラなどで埋める。

9.ヒートガンやドライヤーで波を広げる

白レジンが海色レジンの上に薄く膜を張るように風当てていく。
1カ所だけに風が当たり続けずにヒートガン(ドライヤー)を左右に振りながら風当てていく。

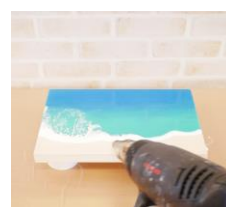
10.ガストーチもしくはバーナーで気泡飛ばす

11.約2日間硬化を待つ

硬化中にホコリつかないようにダンボールなどでカバーをする。

12.完全硬化後にマスキングテープをはがす

糊が残らない様にドライヤーなどで温めながらはがす。
レジンのつらら(垂れ)が取れない時にはカッターなどで切れ込みを入れてからはがす。



*こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます。
*レッスン内容は予告なく変更になる場合がございます。
*レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品などのご質問はお控えください。